

# 奈良県感染症情報

平成 28 年 第 21 週( 5 月 23 日～ 5 月 29 日)  
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 保健研究センターだより 6月「カンピロバクター食中毒に御注意ください！」

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	5.91	(6.47)	➡	↗	➡	↘
2	A群溶連菌咽頭炎	2.32	(2.41)	↗	↑	↗	↑
3	流行性耳下腺炎	1.29	(1.68)	➡	➡	➡	↑
4	咽頭結膜熱	0.97	(0.65)	↑	↑	↑	↓
5	伝染性紅斑	0.79	(0.47)	↑	↑	↑	➡

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**➡**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

## ◆ 県内概況 ◆

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、ほぼ横ばいで推移していますが、例年に比べると高いレベルです。また、暑くなってくると増加するA群溶連菌咽頭炎、咽頭結膜熱も徐々に増加してきています。昨年末から流行していた伝染性紅斑(リンゴほっぺ病)が、春には収まったかに見えましたが、今週は増加しています。

全数報告対象疾患では、腸管出血性大腸菌感染症の報告が増えてきました。これまでの報告ではO(オー)157やO26などが検出されています。牛ユッケの食中毒で有名になりましたが、接触感染を起こすこともあります。トイレ後の手洗いタオルを共有することは感染を広げることになりますので、注意が必要です。

## オリンピック・パラリンピックでブラジルへ渡航される方へ

- もうすぐオリンピック・パラリンピックがブラジル・リオデジャネイロで開催される予定です。一方、ブラジルには一部に黄熱の予防接種が推奨される地域があります。
- ブラジルに渡航する場合、渡航地域および経由する国と地域によっては、黄熱の予防接種が推奨されており、予防接種国際証明書(イエローカード)の提示を求められることがあります。
- 渡航が決まったら、黄熱の予防接種を必要とするかを確認してください。ブラジルへ入国の後に訪れた国では提示を求められることがあります。
- 予防接種を行うことが決まったら、以下の点に注意が必要です。

- 黄熱の予防接種が出来る接種機関は限定されています。

※国際的な証明書を交付しなければならないことから、全国24か所の接種機関(近畿では大阪検疫所・関西空港検疫所・神戸検疫所)のみで実施しています。最寄りの医療機関では接種できません。

- 黄熱の予防接種は予約制です。早めに予約をしてください。

※希望者が多い場合は、希望日に接種できないことがあります。特に渡航のピーク時期は予約もできないことがあります。

- 黄熱の予防接種証明書は、接種10日後から10年間有効です。

《出典:厚生労働省検疫所 FORTH (<http://www.forth.go.jp/news/2016/02051708.html>)》

なお、ブラジルではジカウイルス感染症も流行しています。妊婦及び妊娠の可能性のある方は、可能な限り流行地域への渡航を控えてください。

## ◆保健研究センターだより6月

# カンピロバクター食中毒に御注意ください！

### ◆「肉フェス」で連続して食中毒発生！

今年のゴールデンウィークに開催された「肉フェス」の東京会場と福岡会場で相次いでカンピロバクター食中毒が発生しました。原因食品は、両会場で提供された「ハーブチキンささみ寿司」と断定されました。食肉を扱う祭典でなぜ食中毒は起きたのでしょうか？

### ◆原因は加熱不足？ 鶏は鮮度が良ければ生でも食べられる？？？

今回の食中毒の原因は、ささみの加熱不足と言われています。カンピロバクターは、鶏肉等に付着している可能性が高く、鶏肉の生食は危険で加熱不足でも食中毒になります。でも、肉の鮮度が良いならこの菌が付着していても生食は安全でしょうか？カンピロバクター食中毒とはどのような食中毒でしょうか？

### ◆カンピロバクター食中毒の特徴<肉の鮮度が良くても生食は危険です！>

カンピロバクターによる細菌の感染で発症する食中毒です。2～5日と比較的長い潜伏期間を経た後、腹痛、発熱、下痢、嘔吐などの症状を呈します。数週間後に、顔面麻痺など神経症状を起こすギランバレー症候群を発症することもあります。この菌は、湾曲したらせん状の形態（図1）で乾燥にも加熱にも弱く、酸素濃度の低い動物の腸管内に生息しています。大気中では生育が困難なため、肉の鮮度が良い（大気に短時間しか触れていない）ほど菌が元気なうえ、人に対する発症菌量が数百～数千個と少ない特徴があり、肉の鮮度が良くても少ない菌量で食中毒になるため注意が必要です。



図1 電子顕微鏡写真「国立感染症研究所ホームページ」より

### ◆カンピロバクター食中毒発生状況<実は発生原因第2位！>

厚生労働省の食中毒発生状況によると、ノロウイルスに次いで発生原因の第2位（細菌性では1位）で、平成27年の食中毒事件数は318件で、患者数は2,089人でした。原因食品の多くは、鶏のささみ、ユッケや加熱不十分の鶏肉料理です。この菌による食中毒は年間を通じて発生しますが、初夏の5～6月に発生のピークが見られるのが特徴です（図2）。奈良県内でも、同様の傾向を示しており、今の時期こそ最も注意が必要です。

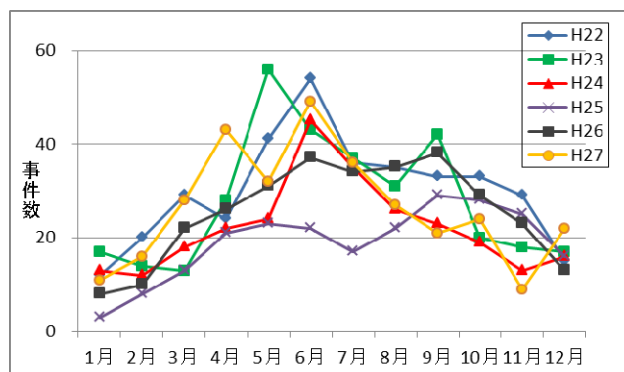


図2 カンピロバクター食中毒年次・月別事件数  
（厚生労働省食中毒統計より）

### ◆予防方法

予防には、肉類の生食を避け、十分な加熱調理を行い、調理器具（まな板や包丁）や手指を介した他の食品への二次汚染に気を付け、使用した器具類の洗浄・消毒をしっかりと行うことです。

厚生労働省からもこの菌による食中毒の注意を呼びかけていますので参考にして下さい。

「カンピロバクター食中毒予防についてQ&A」

<http://www.mhlw.go.jp/qa/syokuhin/campylo/index.html>

（保健研究センター 細菌担当）

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 28 年 第 21 週 5 月 23 日 ~ 29 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	14	14	11	10	2	3	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	3 (0.09)				3 (0.50)			
咽頭結膜熱	33 (0.97)	4 (0.44)	8 (0.89)	12 (1.71)	9 (1.50)			
A群溶連菌咽頭炎	79 (2.32)	12 (1.33)	17 (1.89)	4 (0.57)	40 (6.67)	3 (3.00)	3 (1.50)	
感染性胃腸炎	201 (5.91)	43 (4.78)	56 (6.22)	41 (5.86)	55 (9.17)	2 (2.00)	4 (2.00)	
水痘	13 (0.38)	5 (0.56)	1 (0.11)	2 (0.29)	5 (0.83)			
手足口病	1 (0.03)		1 (0.11)					
伝染性紅斑	27 (0.79)	7 (0.78)	11 (1.22)	7 (1.00)	1 (0.17)		1 (0.50)	
突発性発しん	20 (0.59)	6 (0.67)	6 (0.67)	6 (0.86)	2 (0.33)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	5 (0.15)	1 (0.11)	2 (0.22)	1 (0.14)			1 (0.50)	
流行性耳下腺炎	44 (1.29)	10 (1.11)	14 (1.56)	8 (1.14)	7 (1.17)	1 (1.00)	4 (2.00)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	2 (0.20)		2 (0.67)					
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	6 (1.00)				6 (6.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	2 (0.33)		2 (1.00)					

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核6件(奈良市3、中和2、内吉野1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(中和1)
4類感染症	レジオネラ症1件(郡山1)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌感染症2件(中和2) 梅毒2件(奈良市2)

❖ 第 21 週のトピックス ❖

・ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に症状が生じた方に対する相談窓口について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou28/madoguchi/index.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。  
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計	累計		
インフルエンザ	男																					7741		
	女																						7517	
RSウイルス感染症	男																					1	146	
	女			1																			2	132
咽頭結膜熱	男			4	11	1	1		1														18	157
	女			4	6		2		1	1													15	145
A群溶連菌咽頭炎	男		1	1	4	2	6	3	4	6	2	4	4	1		1							39	693
	女				2	4	5	6	3	6	5	1	2	4	1	1							40	608
感染性胃腸炎	男	1	4	18	11	7	10	12	8	7	2	5	5	2	10								102	2129
	女	2	2	10	14	13	12	3	5	4	2	5	9	2	16								99	1892
水痘	男				1	1	1		1	1	2		1										8	120
	女			1				2	1														5	88
手足口病	男						1																1	7
	女																							10
伝染性紅斑	男			3	1	2	2	3	1	1		1											14	211
	女				1	2	2	1	1	2	3		1										13	195
突発性発しん	男		6	7		1																	14	183
	女		1	4	1																		6	166
百日咳	男																							
	女																							3
ヘルパンギーナ	男			1								1											2	8
	女			1	1								1										3	11
流行性耳下腺炎	男						4	5	1	2	3	2	4		1								22	489
	女				1	1	5	3	1	4	1	2	1	2	1								22	413
急性出血性結膜炎	男																							
	女																							1
流行性角結膜炎	男								1															2
	女																							28
細菌性髄膜炎	男																							3
	女																							1
無菌性髄膜炎	男																							1
	女																							2
マイコプラズマ肺炎	男		1	2																				3
	女		2	1																				3
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		1																					1
	女		1																					1

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H28 ▲ H27 □ H26 〰 過去10年平均

